

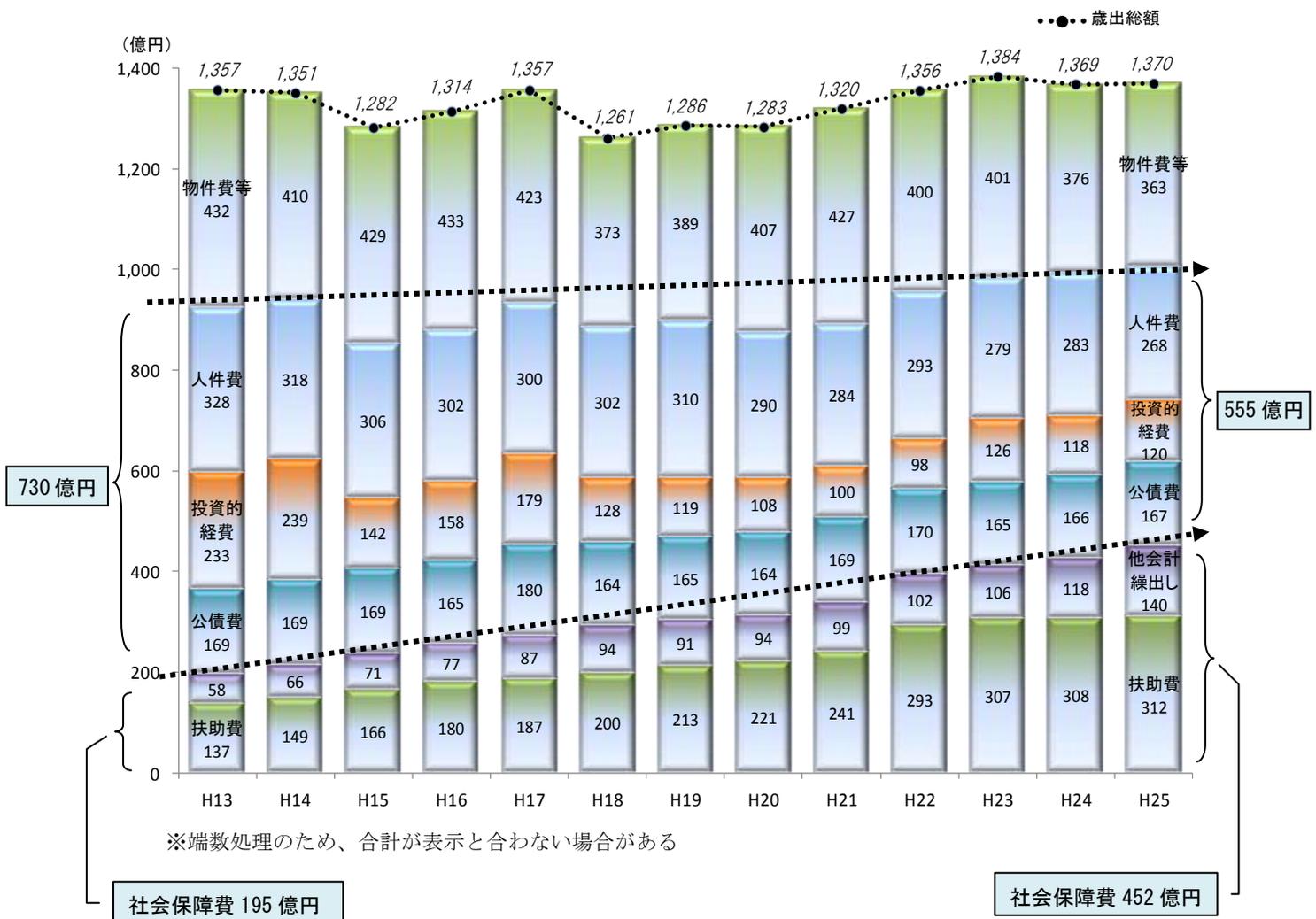
(参考) 横須賀市の財政状況

○歳出（性質別金額）

…歳出総額は1,370億円で、前年度1,369億円から1億円増加。扶助費と他会計繰出しを合わせた社会保障費が26億円増加。（主な理由は国保会計への繰出し17億円増加）

歳出総額は1,300億円前後で推移しているが、このうち社会保障費（扶助費・他会計繰出し）の支出額は、平成13年度の195億円から平成25年度の452億円へと大きく増加。主な理由は、生活保護や障害者福祉などの扶助費や、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療など他会計への繰出しの増加など、主に高齢化が進んでいることによるもの。

一方、人件費、投資的経費、公債費は、行財政改革による経費削減などで、平成13年度の730億円から平成25年度には555億円にまで減少。

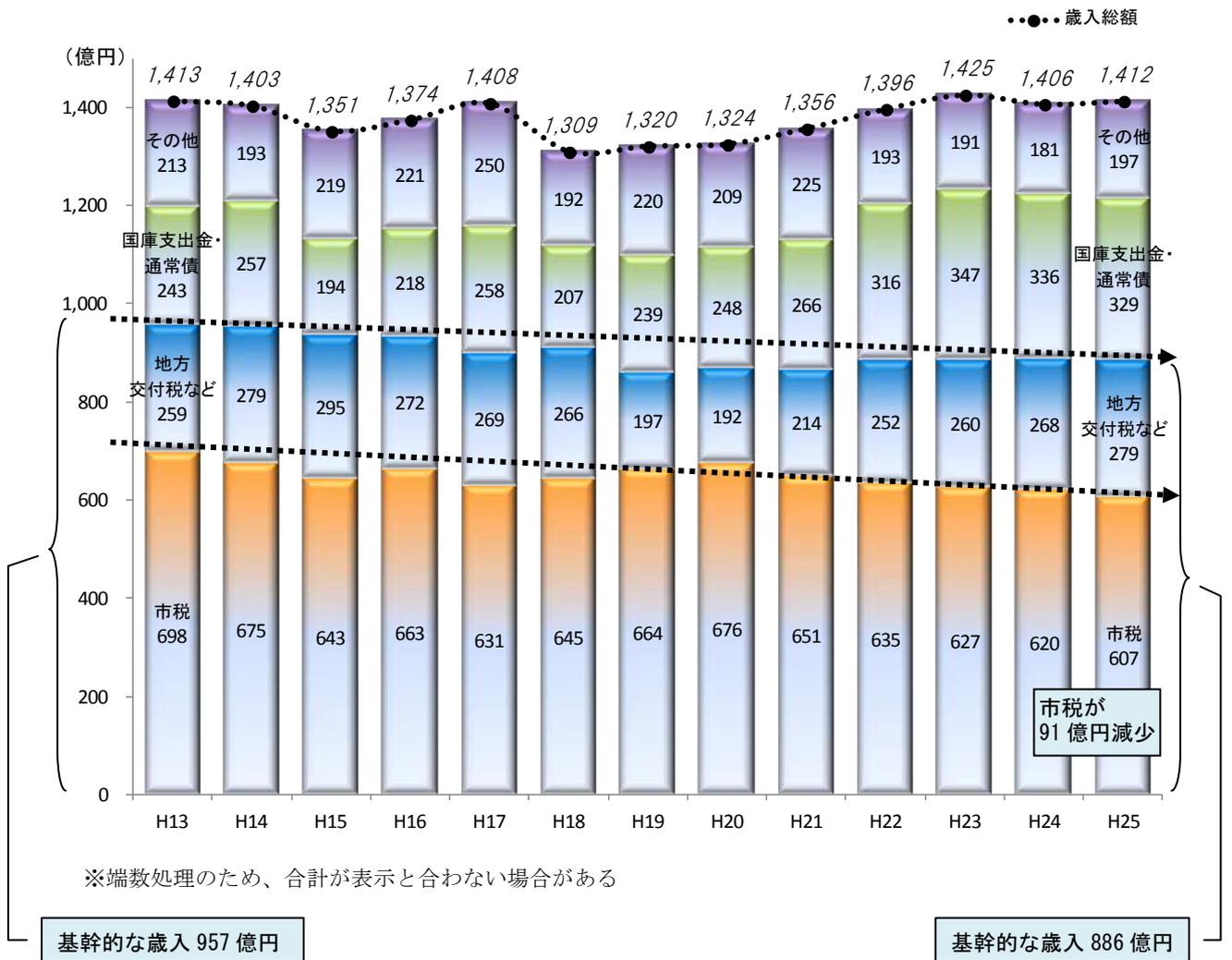


○歳入（性質別金額）

…市全体の収入は、1,412億円で、平成24年度の1,406億円から6億円増加。

「市税」と「地方交付税など」を合わせた、市が使い道を自由に決められる「基幹的な歳入」のうち、「市税」が13億円減少した分を、国から交付される「地方交付税など」が11億円増加して補てんする形となっている。

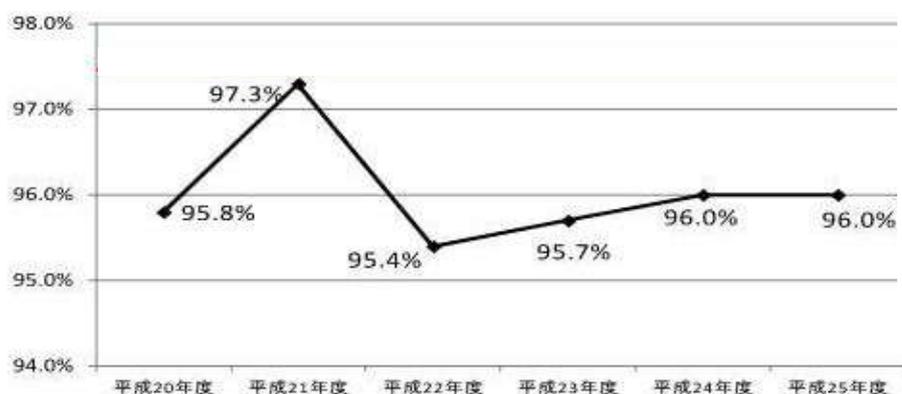
「基幹的な歳入」は、平成13年度の957億円から平成25年度の886億円と71億円減少している一方で、国庫支出金など使い道が決まっている歳入は、平成13年度の243億円から平成25年度の329億円へと増加し、財政の硬直化が進んでいる。



○財政状況比較（平成25年度決算）

	横須賀市	横浜市	藤沢市	三浦市	逗子市	神奈川県
歳入総額(千円)	140,809,125	1,598,029,363	135,518,089	15,820,572	21,429,794	1,909,416,759
歳出総額(千円)	136,339,081	1,558,218,510	124,353,435	15,697,589	20,532,329	1,890,247,490
歳入歳出差引	4,470,044	39,810,853	11,164,654	122,983	897,465	19,169,269
経常収支比率(%)	96.0	94.3	87.9	101.0	97.4	92.3
財政力指数	0.80	0.96	0.99	0.67	0.85	0.91
地方債現在高(千円)	171,166,520	2,350,280,372	72,946,128	27,070,721	19,177,751	3,727,963,206
実質公債費比率(%)	6.5	15.4	2.3	18.4	5.2	11.1

○経常収支比率の推移

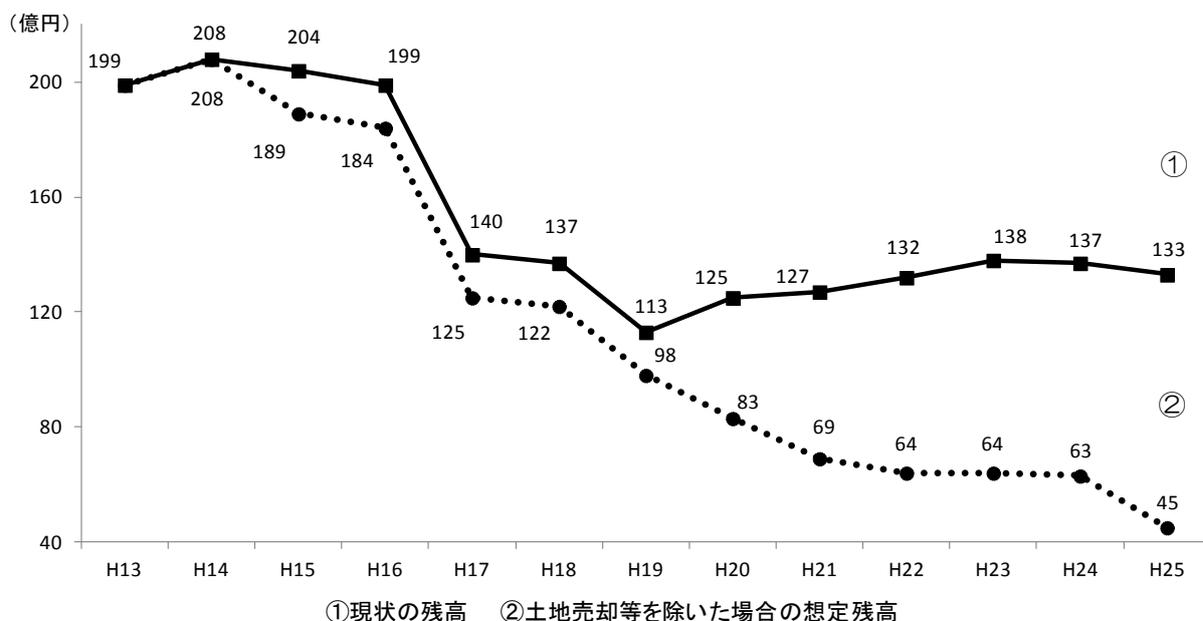


経常収支比率：(経常経費充当一般財源÷経常一般財源総額×100)

財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。人件費・扶助費・公債費等の経常的経費(必ず支出しなければならない「固定費」)が占める割合で、比率が高いほど自由に使えるお金の割合が減る。低いほど、財政に余裕があるということになる。

○財政調整基金残高等の推移

…平成14年度には208億円あったものの、平成19年度には113億円まで減少。その後、土地の売却を進めたことなどで、平成25年度末は133億円となっている。しかし、このような土地の売却など一時的な収入がなかったとすると、②の破線で示すとおり、その残高は減少している状況。(実質的に単年度の収支は赤字)

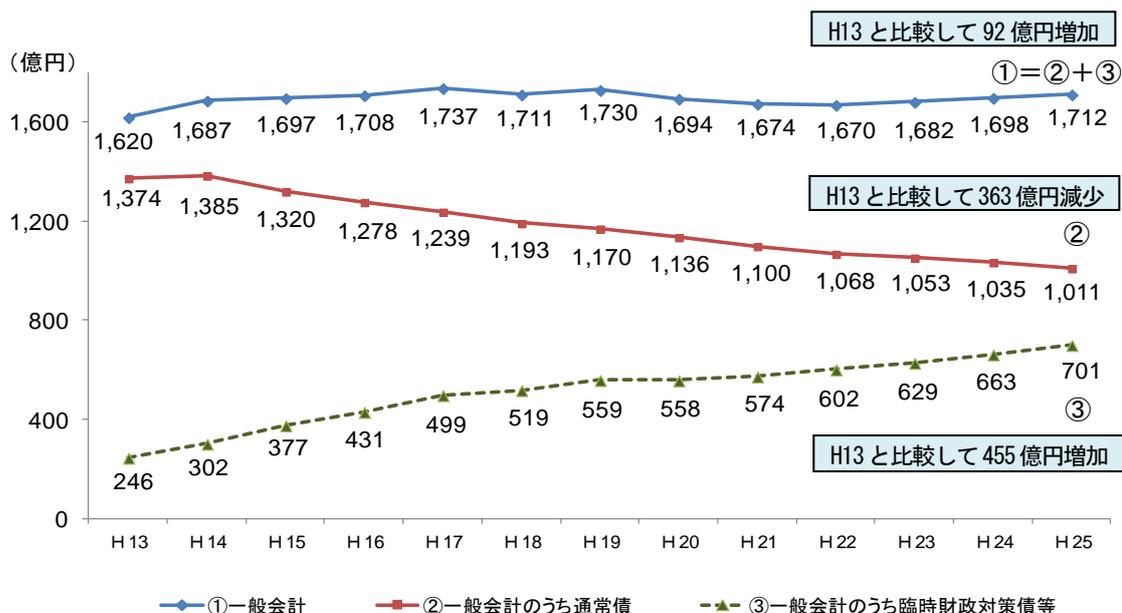


財政調整基金：

ある年度に収入が大きく減少した場合や、一時期に多額の経費がかかる場合などの不測の事態に備えて積み立てている貯金。近年、社会保障費が増える一方で、使い道の自由な収入が減少しているため、経費削減により不足額を埋めているが、なお足りない分は、「財政調整基金等」(「財政調整基金」と「公有施設整備基金」)をおろし補う状況が続いている。

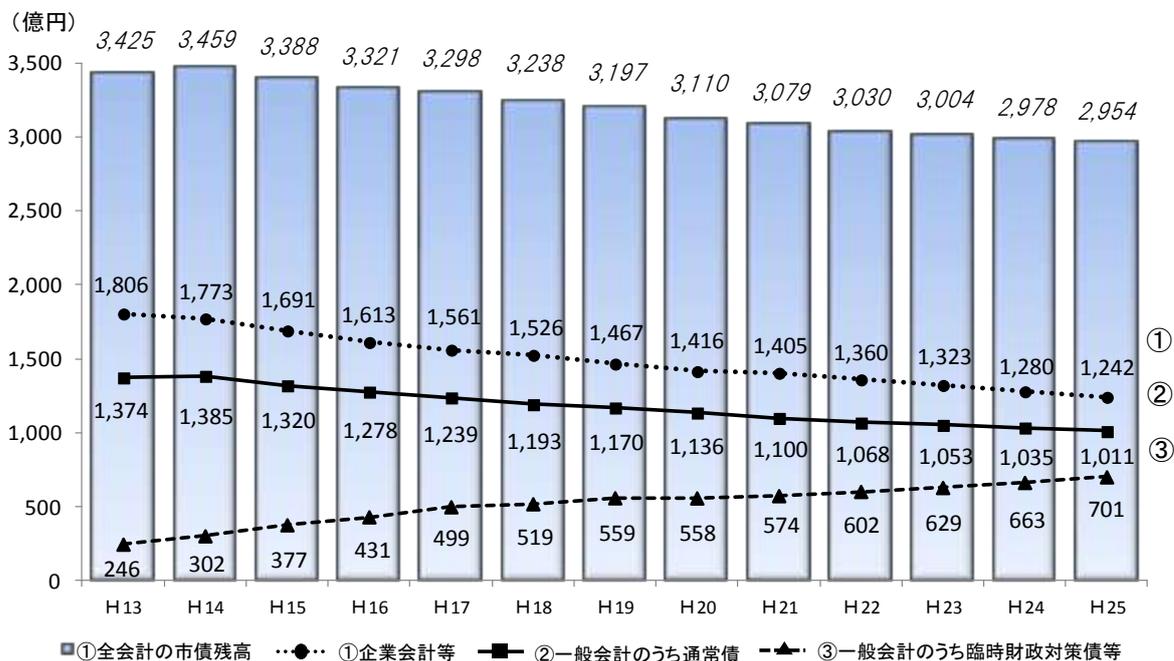
○市債残高の推移（一般会計）

…平成 25 年度末の一般会計の市債残高は 1,712 億円で、平成 24 年度末から 14 億円増加。（平成 13 年度からは 92 億円増加）市債のうち「通常債」（施設整備（道路、学校、公園等）を行う場合などに借り入れる市債）は、行財政改革により借入の抑制に取り組んできた結果、平成 13 年度の 1,374 億円から平成 25 年度の 1,011 億円へ 363 億円（約 26%）減少。
一方、「臨時財政対策債等」は、地方交付税として交付されるべきお金のうち「臨時財政対策債」（国の財源不足で現金で配分できないため、不足する分を市が一旦借金で補うもの）の占める割合が増えていることから、平成 13 年度の 246 億円から平成 25 年度の 701 億円へ 455 億円（約 285%）増加。



○市債残高の推移（全体）

…一般会計と、特別会計、企業会計を合わせた横須賀市全体の市債残高は、平成 25 年度末で 2,954 億円で、平成 24 年度末残高 2,978 億円から 24 億円減少。また、平成 13 年度からは 471 億円（約 14%）減少。全会計の市債残高は、平成 15 年度以降減少が続いていて、前述の臨時財政対策債等を除くと、その傾向はさらに顕著になる。



○目的別市債償還状況（一般会計：平成25年度決算額）

目的別	平成24年度末	平成25年度	平成25年度償還額			平成25年度末	
	現債額	借入額	元金	利子	計	現債額	
通常債	保健・福祉関連	9,945,746,353	1,242,900,000	1,367,680,532	98,072,192	1,465,752,724	9,820,965,821
	道路・港湾など	39,308,736,627	2,686,300,000	4,124,854,619	612,289,900	4,737,144,519	37,870,182,008
	学校・体育施設など	17,311,570,029	1,528,800,000	1,006,876,803	247,169,182	1,254,045,985	17,833,493,226
	会館・美術館など	15,405,984,280	151,400,000	1,621,337,369	179,030,020	1,800,367,389	13,936,046,911
	その他	21,515,281,862	1,550,100,000	1,448,991,519	375,088,162	1,824,079,681	21,616,390,343
	小計	103,487,319,151	7,159,500,000	9,569,740,842	1,511,649,456	11,081,390,298	101,077,078,309
臨時財政対策債等	66,304,960,070	8,621,000,000	4,832,596,801	813,280,020	5,645,876,821	70,093,363,269	
一般会計合計	169,792,279,221	15,780,500,000	14,402,337,643	2,324,929,476	16,727,267,119	171,170,441,578	